

## Lesson 221

## 発想する！授業

生涯にわたって  
社会のいたるところで学ぶための方法序説

## 高校生の「やってみたい」を カタチにできる地域での学び

佐藤 克宏

提案・探究的な学びから高校生と地域を結んでみませんか？

### 高校生って地域にモテる

こんにちは。宮城県角田市生涯学習課の佐藤です。PBLや探究の要素を生涯学習に取り入れた「出会って、学んで、つながる地域大学」「かく大学」や地元角田高等学校の総合的な探究の時間に係る地域連携支援事業などに取り組んでいます。

実は先日、ちょっと嫉妬してしまっていることがあります。高校生って地域の方々にモテるんですね。悔しいのですが…。角田市では高校生たちの地域を舞台にした探究を応援しています。この日は映画と地域について探究している高校生が、あるCM大賞に応募する動画制作のため、市のスポーツ施設で身体を動かしている地域の方々に撮影にきていました。このような撮影は遠慮されることも多く、CMのように自分の顔が公になるような撮影はなおさらです。



ところが、高校生が地域の方々にお願いすると違うんですね。しかも撮影していたら地域の方々に「一緒に」とビデオカメラを置かされて、一緒にレクダンスを踊り始めてしまいました。地域の方々も高校生と手を繋いだりするだけで歓声が。高校生の参加で地域の方々にとっても刺激になったようです。撮影した高校生はCM動画制作を終えて一番楽しかったことについて、動画の構成や撮影は好きなものでもちろんだけど、何より

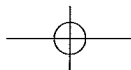
協力していただいた地域の方々との交流が楽しかったと話してくれました。

### 高校生たちの問いから主体性を引き出す

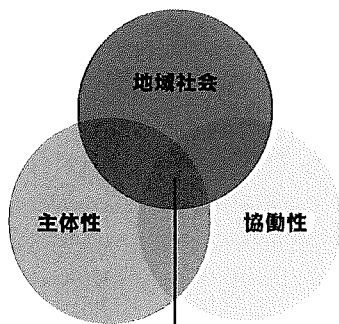
私もおじさんという年齢に差し掛かりつつありますが、高校生たちの若いエネルギーや発想には毎回勉強させてもらうことが多くあります。きっと一緒になる地域側の大人にも同様なのでしょう。

このような高校生と地域の間には、学校教育、社会教育ともに多数の事例とともに、これをご覧になっている方の多くも高校生たちとの事業など取り組まれていることと思います。皆さまはどのようなことを大切に実施されていますでしょうか。

角田市には角田高等学校という高校が1校あり、総合的な探究の時間など地域連携として行政も一緒にカリキュラムを考えてきました。アクション型探究ということ掲げ、高校生たちの地域を舞台にした実験的な取り組みやチャレ



ある高校生はアレルギーを持っている家族と好きなおやつを一緒に食べることができず、悲しい経



未来をつくる人材育成

ンジを応援しています。その中で大切にしていることは「自分の興味関心から始めること」「問いから行動する主体性」です。たくさんの方の高校生が学校から地域に出てきてくれますが、その主体性に驚かされます。その対義に強制があるとすれば、高校生たちは自由に、そして実験的に失敗を恐れず、探究に取り組んでいます。そこになんの強制はありません。自ら問い、課題を設定して、実際に地域にでて実験してみる姿勢はきつと大人になって新しい時代を生きていく力になるはずです。

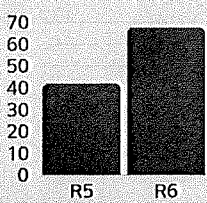
これまでの高校生とこれからの高校生。必要な学びの場とは？  
これまでは子ども会か

験があつたそうです。それでどうすればアレルギーがあつても美味しい食事を一緒に楽しむことができるか探究を進めていました。アレルギーについての研究はもちろんです。自分たちで実際にアレルギーフリーのドーナッツを試作していただきました。実際に食べさせてもらうと、これが想像以上に美味しい。高校生たちが近くのお菓子屋さんに相談したり、レシピを持ち込んでいたら、いつの間にか商品化の話にまでなつてしまいました。商品化ありきで進んだものではないからこそ、高校生らしくて、やさしいストーリーがその商品に現れたことが印象的でした。

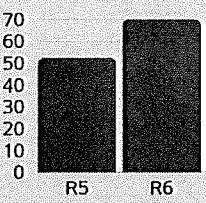
### 角田市高校生地域探究支援事業前後アンケート結果

探究の授業やプロジェクトの実践を通して、身近な課題を主体的に発見し、行動する姿勢に繋がりました。

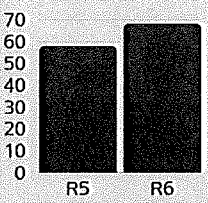
【地域社会への興味関心】  
自分の行動で地域・社会をより良くしていける。  
R5:41.9%→R6:67.5%  
25.6%アップ



【主体性】  
失敗を恐れずに取り組むことができる。  
R5:52.4%→R6:70.2%  
17.8%アップ



【協働性】  
年齢や立場が違っても意見をもち対話できる。  
R5:58.1%→R6:68.4%  
10.3%アップ



宮城県角田市教育委員会生涯学習課主査（社会教育主事）  
佐藤克宏  
連絡先…  
syougaku@city.kakuda.lg.jp

らジュニアリーダーという高校生までの社会教育の流れから、次世代を育成する確かな役割がありました。しかし、一方で社会の変化に合わせた高校生と地域で取り組む学びも求められているように思っています。

角田市の高校生地域探究支援事業では事業実施の前後比較から、次のようなアンケートで大幅にポイントを上げた変化がありました。

- ① 自分の行動で地域・社会をより良くしていける
- ② うまくいくかわからないけど失敗を恐れずに取り組める
- ③ 年齢や立場が違ってても意見をもち対話できる。

地域の新しい可能性を高校生たちは楽しく見出すかもしれません。

次号の「発想する！授業」は中央区安西さんからお送りする予定です。お楽しみにください。